

## 主要国・地域の越境EC

## マレーシアの越境EC

2017年12月20日

## EC市場規模

マレーシアのB2C市場の売り上げは15億米ドル(2014年)とされ、国際通貨基金(IMF)統計をもとに1人当たり売上高を算出すると、49ドルにとどまり、中国の213ドル(2015年)、米国の844ドル(2015年)よりもだいぶ少ない(政府などの試算)。換言すれば、EC市場の発展はこれからともいえる。

マレーシアにおける出店可能な主な越境ECプラットフォームとしては韓国系11ストリート、地場のレローンやイオンが管理するSHOPPUなどあるが数は少ない(アマゾン・マレーシアはなく、アマゾンの海外向け販売サイトを利用)。

一方、マレーシア政府はEC市場の育成に注力。中でも、アリババとの関係強化が注目され、2016年11月に訪中したナジブ首相は同社のジャック・マー会長と会談し、同氏をマレーシア政府のデジタル経済アドバイザーとすることを発表。また、2017年3月にはアリババもマレーシアに国際物流拠点の設立を発表した他、7月には、アリババ子会社とマレーシア政府が共同で立ち上げる世界電子貿易プラットフォーム(EWTP)のデータ処理を手掛けるデータセンター開設計画を発表。

## 日本商品のEC販路開拓上の課題

同国のEC市場規模が小さく、夜明け前の段階にあることを踏まえると、日本商品を売り込める越境ECの市場規模は極めて小さい。現状日本の商品では美容・健康関連製品の人気が高いが、日本製品は物流コストがかさみ、相対的に価格競争力が低下することが課題。

## EC売れ筋商品

マレーシアでオンライン・ショッピングの経験があると回答した国民は83%、1年以内に再利用するとした回答も85%に及ぶ(2016年11月に11ストリートがマレーシア国内の3,507人を対象に実施したアンケート調査)など、近年は少額な買い物を中心にEC利用が進んでいる模様。同アンケートでは売れ筋商品も紹介され、2016年時点でのカテゴリー別人気商品はファッション・美容、電子機器、スポーツ・ホビーが挙がり、今後は室内装飾・家具、家庭用品・雑貨、サプリメントの人气が高まるとのこと。

日本の越境商品についても美容・健康関連の人气が目立つ。11ストリートは、少数ながらも日本商品を扱っている。2016年の人気商品はマウスウォッシュ。ヘアマスクなども数点扱っており、同社は日本のファッション・美容商品、電子機器などの品ぞろえ増を期待。また、イオンが管理するSHOPPUにおいても、日本製品としてはフェースパックや美肌用オイルなどの売れ行きが好調。

## 越境ECの課題

越境ECにおける最大の課題は物流で、輸送費がかかる分、商品の価格競争力が低下すること（マレーシアECサイト[11ストリート、レローン]関係者）。出店企業にとっても、マレーシアは品質以上に価格を重視する傾向が強く、価格設定は売れ行きを左右しかねない。

さらに日本からの出店の場合は、カスタマーサポートの問題もある。出店者側にサポート対応を任せているECプラットフォームの場合は、出店企業の担当者に相応の語学力が求められる。

EC決済では、11ストリートを利用する場合、料金は同プラットフォームが回収し、日本の銀行に振り込めば良いため、出店企業は外貨両替手数料を負わない。また、同社は商品を追跡し、買い手が受け取ったかをチェックし、「料金が支払われない」や「買い手が間違えて支払いを完了してしまう」といったミスが起きないようにしている。また決済自体も、マレーシアで1万以上の企業が導入しているIPAY88という決済サービスを採用、セキュリティを担保し、決済面の不安を消費者が感じないように配慮している。

## EC決済手段

マレーシアでの決済手段について、オンライン送金が54%で最多。以下、クレジットカードやデビットカードが33%と続き、代金引換が12%、指定口座への前払いが1%（上記11ストリートによる調査）。

## マレーシアにおける越境ECの市場動向と制度

### マレーシアにおける越境EC市場動向

日本からの出品を可能にしている主なECサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 11ストリート(韓国系)</li> <li>• サイト・レローン (マレーシア地場)</li> <li>• shoppu (イオン[AEON]マレーシア現地法人)</li> <li>• イーベイ (eBay)</li> <li>• Qoo10</li> </ul> <p>(注) ラザダは、既存の出店店舗は引き続き利用可能であるが、現在、越境ECサイトに新規出店ができない状態にある。</p>
主要ECサイトにおける販売上位品目 (= 売れ筋)	<p>1位：粉ミルク 2位：スチール製の収納箱 3位：MILO[飲料] 4位：携帯型充電器 (モバイルバッテリー) 5位：折り畳み式アルミニウム机</p> <p>(出所) 11ストリートにおける売れ筋</p>
越境EC利用の際の主な決済システムの利用割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>• クレジットカード・デビットカード (52%)</li> <li>• オンラインバンキング (42%)</li> <li>• ペイパル (6%)</li> </ul> <p>(出所) 国際貿易産業省 (MITI) ウェブサイト (原典) 各社ウェブサイト、世界銀行、ATカーニー</p>

## マレーシアにおけるEC（越境EC含む）に関する制度

国内 規制	(1)データ 制約に関する 規制の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に無し。</li> </ul>
	(2)規制取 扱商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸入規制品目と同規制。</li> <li>・ 全般的に食品は規制が厳しく、品目ごとに輸入規制を考える必要（現状、越境ECで日本食品の輸入はほとんど無し）。</li> </ul>
	(3)その他 のEC販売に 関連する規 制	<p>EC限定規制は必ずしも整備されているわけではないが、現状ECに関わる規制は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Eコマース事業に関する認可～外資50%超の企業でEコマースの事業を行おうとするもの。すなわちネット通信販売事業者、またはネット市場運営事業者は、国内取引・協同組合・消費者省の「マレーシアの流通取引・サービスへの外国資本算入に関するガイドライン」（2010年5月発行）による認可が必要。</li> </ul>
小口配送に関する税 制や輸入手続き関連 制度(上のメリット) の有無と販売への影 響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小口貨物に関するレポート(小口貨物の通関・関税制度(マレーシア)参照。積送品1個当たりの価格(郵送代含)が500リング(約1万3,000円)以下の場合、免税扱いとなる。</li> </ul>	

【注】本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益などを被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

ジェトロ海外調査部

日本貿易振興機構（ジェトロ）発行  
〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32  
アーク森ビル6階  
Tel: 03-3582-5511

お問合せは  
海外調査部 海外調査計画課 出版班まで  
Tel: 03-3582-3518  
E-mail: SENSOR@jetro.go.jp